

【提案】 アディショナルポイント制度の一部変更について

2022.12.31

今年度から始まったアディショナルポイント制度ですが、以下の変更を提案します。

変更点 スプリットカバーの定義変更

これまで対象となるスプリットを具体的に19個提示しましたが、漏れもあり、毎回参照するのも手間なので、スプリットカバーすべてを対象とすることにいたします。

【スプリットカバーごとに1 p 付与する】

これにより、[残ピン表示があるスコアシートか、同会場の選手・ギャラリーの確認は不要]となり、一般のスコアシートのみで判別できるようになります。

参考（2022年実施のAPルールの抜粋）

アディショナルポイント(以下AP)制度とは

「上位入賞」以外の選手に対し、活躍に応じてポイントを付与するルール。

…「上位入賞」とは、競技点が「参加者」の半数までの上位の選手

APの上限

~~従来の優勝ポイントとの合計が~~ 【参加者数】までとする

訂正 ↑ 上位入賞以外の選手が対象なので従来の優勝ポイントはありまませんので削除します(2023.4)

APの付与対象

1. 連続ストライク 試合内でもっとも続いたストライク数に対して

ダブル+1 ターキー+2 フォース+3 …

追記:各ゲーム内での連続ストライクを対象とする

(ゲームをまたいでのストライクの連続は認めない)。

2. スプリットカバー +2 …複数機会も都度カウントする

以下の幅の大きな19通りのスプリットを対象とする

2-6 2-10 3-4 3-7 5-7 5-10 4-6

4-9 4-9・10 4-10 6-7 6-8 6-7・8

7-9 7-10 7・8-10 7・8・9・10 7-9・10 8-10

ただし残ピン表示があるスコアシートか、

同会場の選手・ギャラリーの確認があることが必要

ここを変更

【すべてのスプリットカバー
ごとに+1 p】

に変更

3. 合計スベア数1位 +2

試合内で合計スベアが1位の選手

複数いる場合、全員に

4. 合計点1位 +2

試合内で合計点が1位の選手

複数いる場合、全員に

5. 素点最高点の更新 +2

ハンデ保持選手に対してのみ、自己の素点最高を更新した場合

この項目のみ、上位入賞者も対象とする

6. 参加点 +1

上記1～5にあてはまらない場合、1試合参加(1ゲーム也可)に対して

これにより全員が毎試合1P得られることになる